

第2期出雲市教育大綱（令和4年2月）

本市のめざす学校教育

基本理念

家庭・地域・学校で育む出雲の教育

～夢をもち未来を切り拓くしなやかでたくましい人づくり～

教育目標

- (1) 豊かな心と健やかな体をもち、自信をもって生きぬく人を育てます。
- (2) ふるさとへの誇りと愛着をもち、地域の発展を担う人を育てます。
- (3) 確かな学力と豊かな創造性をもち、広い視野で世界にはばたく人を育てます。
- (4) 多様性を認める寛容さをもち、持続可能な社会づくりに寄与する人を育てます。

重点目標

- (1) 一人一人に生きる力を育む教育
 - ① 豊かな心
 - ② 健やかな体
 - ③ 確かな学力
- (2) 一人一人を大切にす教育
- (3) ふるさとへの誇りと愛着を醸成する教育
- (4) 家庭・地域と協働する学校づくり
- (5) 教育環境の充実

第4期出雲市教育振興計画(令和4年9月)の施策体系

施策の柱1：教育を支える環境の充実

学校教育を推進するうえで、その環境を整えることは、園児・児童生徒の安全・安心や学習意欲の向上に直結し、教職員の士気にも影響します。地域が学校を応援し、その中で教職員が安心して職務に集中でき、園児・児童生徒が快適に学習・活動に集中できる教育環境を目指します。

本市では、市立の学校に地域学校運営理事会や幼稚園運営協議会を設置しています。このことにより、家庭・地域が学校運営に関わることで学校を応援し、支えています。今後も、組織の活性化と活動の充実に取り組みます。

また、児童生徒にとって地域が体験的・探求的な学びの場となり、小・中学校での学びを生かすことができるよう、小・中学校と地域が連携・協働して学齢期の社会教育の充実に取り組みます。

- 施策
- ・開かれた教育行政の推進
 - ・適正な教育環境の構築
 - ・地域における教育力の向上
 - ・危機管理力の向上
 - ・教職員等の負担軽減

施策の柱2：「生きる力」の育成

「生きる力」とは、予測困難なこれからの時代に、子どもたちが自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力といえます。

「生きる力」を育むために、学校及び保育所等、家庭、地域が連携・協働した教育に取り組み、子どもたちの個性や適性を大切にす、その可能性を伸ばしていきます。

- 施策
- ・確かな学力の定着と向上
 - ・幼児期の教育の充実
 - ・豊かな心の育成
 - ・差別解消に向けた教育の推進
 - ・健康・体づくりの推進
 - ・科学館における教育活動の推進

施策の柱3：困難を抱える子どもの支援

幼児・児童生徒の支援の多様化に対応するため、児童相談所や医療機関等と連携し、継続して切れ目のない支援を行うことで、一人一人を大切にす特別支援教育の充実を図ります。

また、障がいの有無によらず、誰もが地域の学校で学べるインクルーシブ教育に引き続き取り組みます。

不登校・いじめ・問題行動等、生徒指導上の問題の解決も、小・中学校の喫緊の課題となっており、未然防止はもとより、早期に発見し組織的に対応するとともに、児童相談所・医療機関等と連携した支援体制の充実・強化を図ります。

加えて、年々増加している日本語指導が必要な児童生徒に対する教育支援にも努めます。

- 施策
- ・特別支援教育の充実
 - ・不登校対策の充実
 - ・いじめ問題対策等の取組
 - ・帰国・外国籍児童生徒への支援

施策の柱4：学校給食の充実

食への関心が高まる中、栄養のバランスがとれた給食、地元産食材を使用した給食、食育につながる給食、食物アレルギーに対応した給食など、「安全・安心でおいしい給食」を提供します。

また、給食を安定的に提供するため、安全で衛生的な給食設備を維持します。

- 施策
- ・安全・安心でおいしい学校給食の推進

施策の柱5：学校施設の整備

学校施設の耐震化対策を早期に完了するとともに、教育環境の向上を図るため、学校再編や児童生徒の社会増に伴う新增改築事業を実施します。

学校施設の長寿命化計画により、トータルコストの縮減に努めます。同時にバリアフリー化などの質的環境整備や更新時期が来ているエアコンの計画的取替、新型コロナウイルスなどの感染症対策を実施します。

- 施策
- ・耐震化の早期完了
 - ・新增改築事業の推進
 - ・施設環境の向上
 - ・大規模改造・営繕事業の推進